

## 酉年にちなんで



上川北部医師会  
名寄市立総合病院

山下 孝典

日本3大地鶏の一つ、比内鶏の産地である秋田県大館市で昭和44年の酉年に生まれ、大学入学から北海道に居着いてしまい、酉年の平成17年度から名寄市立総合病院に勤めまして12年となります。今年年男ということで新春随想を仰せつかりました。

酉年で鶏を思い浮かべる方も多いかと思えます。病院勤務ですと生きている鶏に接する機会は少なく、鶏の時を告げる鳴き声で目覚めることもなく、専ら食品として鶏肉を食べるくらいです。さまざまな鶏料理がありますが、個人的には、焼き鳥に郷愁を感じてしまいます。

北海道に来て関連病院を回るうちに、鶏ではない「やきとり」にも触れる機会がありました。安価なブロイラーが出回るようになったのは1960年頃で、それ以前の鶏肉は高価で地域によっては豚肉の方が安価で使われています。また北海道では特産であるタマネギを使うことが多いようです。

全国7大ご当地やきとりのうち、北海道から選出された美唄では鶏肉（親鳥）+モツ数種+タマネギを塩コショウで味付けし、室蘭では豚肉+タマネギをタレで味付けして、それぞれ炭鉱や鉄鋼で働く人々に愛されてきました。

やきとり1本にもその地域の産業の栄枯盛衰の歴史が感じられます。炭鉱や鉄鋼もかつての活況にはありませんが、ご当地のやきとりが廃れずに根強い人気を誇っていることには感心させられます。やきとりに限らず、その地域ごとのさまざまな文化がこれからも守られていってほしいものです。

## 48歳・年男



札幌市医師会  
恵佑会第2病院

高橋 宏明

2017年は酉年、0歳のときを含めると5回目の年男となります。これまで自分の干支や年男のことなど意識したこともありませんでしたが、今回、原稿執筆依頼を頂き「年男」という12年の区切りで世の中の動きと自分の人生を振り返ってみました。

1969年 人類初の月面着陸…誕生！

1981年 「窓際のトットちゃん」大ベストセラー  
…ただひたすらに釧路の野山を走り回る日々

1993年 皇太子・雅子様のご成婚  
…大学卒業・医師への第一歩

2005年 ドラえもんの声優が総替わり  
…恵佑会入職後3年が経過し食道癌内視鏡治療へ邁進

こう考えてみると、あっという間に感じられます。もっと長い道のりを歩いてきたように感じていたがまだまだヒヨっ子ということでしょうか。

インターネットで調べてみたところ、十二支はかつて中国で農耕カレンダーとして使われていたそうで、10番目の酉は10月となり、実りの季節を表すとともに、実った果実から作った酒のことでもあるそうです（なるほど、それでワインが好きなのだとか点がいきました）。

次の年男の時は還暦です。また12年後に振返った時に十分な実りが得られるよう、良い具合に醸された12年であったと思いたいものです。それには、まず「健康」でしょうか。疲れが一日で取れないこの頃に、もう新品の体ではないのだと痛感します。

今年一年の会員皆様方のご健康とご活躍を祈念しつつ、年初のご挨拶とさせていただきます。

本会では、例年新年号に「新春随想」を企画し、年男・年女に当たられます会員諸氏より無作為に選定させていただき、執筆をご依頼申し上げております。

時節がら、ご多忙にもかかわらず、ご寄稿いただき感謝申し上げます。

北海道医師会会員数は、男性7,450名・女性928名の合計8,378名（12月8日現在）。そのうち酉年生まれの会員は別表のとおりです。

◇情報広報部◇

(名)

	男性	女性	合計
36歳	41	11	52
48歳	166	26	192
60歳	240	18	258
72歳	79	2	81
84歳	67	4	71
96歳	2	1	3
合計	595	62	657